

- 1 団体名 皆野剣友会
- 2 代表者 大澤 博次
- 3 会員数 中学生 男子 4名 女子 2名
(皆野中学校4名、太田中学校2名)
小学生 男子 14名 女子 6名
(皆野小学校14名、国神小学校3名、大田小学校1名、
尾田蒔小学校1名、横瀬小学校1名)
- 4 稽古日 毎週 火曜日 金曜日 土曜日 日曜日
時間 午後6時30分～午後9時(平日)
午前9時30分～正午(土曜日・日曜日)

5 団体の歴史

昭和45年に大澤正孝氏の発案で金子千侍氏・山田秋久氏と相談し息子たちを含め、4人の子ども達を集めて剣道を始めた。既に三沢地区で剣道の指導をしていた小河可作氏(皆野中学校剣道部外部指導員教士7段)に声をかけ皆野剣友会発足のきっかけに至る。皆野地区は専門的に指導ができる大人がいなかったため、当時皆野高校剣道部顧問の根岸光男先生(範士7段)にお願いし皆野町剣友会が発足した。

当時は、皆野町役場北側の自転車置き場付近に古い長屋建ての建物があり、そこを道場として週2回の稽古を実施した。(三沢地区は旧三沢中学校時代から活動していたので稽古場所は三沢地区で行われる)

会員は小学5年生を中心とする十数名で、その後次第に活動内容が広まり、会員も増えて3年を経過する頃には軌道に乗り上手な子も出始めた。この中には後に全日本剣道選手権で準優勝に輝いた大澤規男氏がいる。

指導者も町役場に勤務した吉田明夫(昭和47年秋から)、吉橋守夫(昭和48年春から)、昭和49年春から国土舘大学を卒業し教員となった大澤博次が加わる。また、大澤博次の呼びかけで皆野中学校の後輩である石田昭二(旧姓平)、高橋修と徐々に層を増し

ていった。

昭和60年役場庁舎建設のため練習場を皆野小学校体育館に移した。

その後、平成5年に皆野町柔剣道場を建設していただき更に環境は整った。順調に活動していたが、残念なことに80人以上を数えた会員も、ある年をピークに年々入会する子ども達が減少し10人不足で活動することが続いた。

他のスポーツ団体も町のスポーツ少年団として結成され、野球・サッカー・水泳・バスケットボール・他種目の活動が活発になってきた事も影響があったと思われる。

会員の確保が難しくなりつつ、更に5人3人となり指導者1人子ども1人の稽古が続くようになった。指導者もそれぞれ仕事の重責が増して指導に来られなくなってきた。そこで、入会する子どもも少なく指導者の事情もあり、平成15年から一時活動を休止とした。

しかし、剣友会の灯を消さないように、いつの日か再開に向けて大澤博次と吉橋守夫の二人で細々と稽古を続けた。

数年たち、ある保護者から剣道を習わせたいと希望があり、日曜日に兄妹

3人で稽古を行うようになった。

(指導は吉橋守夫が行う) 更に吉橋が、学童保



育での剣道体験教室を行い、興味を持った子どもに呼びかけ、国神小学校地区からも参加を募り平成28年秋から小学生の指導に取り組み、年が改まって、平成29年度より正式に子どもの活動を再開し現在に至る。